



2023年2月21日

各位

会社名 株式会社グローバルインフォメーション  
代表者名 代表取締役社長 小野 悟  
(コード番号: 4171 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 CFO 杜山 悦郎  
(TEL. 044-952-0102 (代表))

### 上場維持基準の適合に向けた計画

当社は、2022年12月末時点において、スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年12月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式比率については基準に適合しておりません。当社は、下表のとおり、流通株式比率について2025年12月末までに上場維持基準に適合するために次のとおり取り組みを進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (2022年12月末時点)	1,257	6,116	10.9	20.75
上場維持基準	400	2,000	10	25
計画書に 記載の項目	—	—	—	○

※当社の適合状況は、東京証券取引所が2022年12月31日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

##### (1) 基本方針

当社は、「お客様にとって真に価値のある情報を精査し、お届けすること」を経営理念として掲げ、各業界・産業界の意義ある活性化に「情報」というフェイズから貢献するため、市場調査レポートの販売を中心に事業を展開しております。

当社がスタンダード市場の上場を維持することは、当社サービスを利用される顧客をはじめ、当社に関わる全てのステークホルダーの皆さまからの信頼の獲得、事業の持続的な成長につながり、中長期的な企業価値及び株主価値の向上を実現させていくためには必要不可欠であります。また、当社が投資対象として十分な流動性と高いガバナンス水準を備えた会社であることを示すことが重要であり、必要な資本政策を適時に実行していく方針です。

(2) 課題、取り組み内容

当社は、2022年12月31日時点で、創業者であり当社代表取締役社長小野悟及びその関係者で75%超の株式を保有していることなどから、流通株式比率が20.75%となっており、上記方針のもと、スタンダード市場の基準項目の一つである「流通株式比率25%以上」の達成に向け、流通株式数の増加を図ってまいります。

また、その計画期間は、当社株式の流動性、時価総額の点から短期間に大量の株式を市場に放出することは株価に与える影響が大きいと考えられることから、段階的に実施をすることが望ましいと考え、計画期間を2025年12月末までといたしました。今後も中長期での成長の実現やコーポレート・ガバナンスの充実等を通じて、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

なお、流通株式比率向上の具体的な施策につきましては、大株主による売却を前提としておりますが、具体的な時期、手法については、株価への影響を勘案したうえで、決定次第速やかに公表いたします。

以 上